

納入事例

Music Club JANUS 様

オトナのための上質なサウンドを引き出す“SD8-24”。
多彩なジャンルの音楽それぞれの自然な音を演出。



ホールとステージ

スタンディングで350名を収容するホール。イベントごとにテーブルや椅子の配置を変える。

■ 大阪心齋橋に誕生したオトナのライブハウス

「多彩な音楽とおいしい料理が気軽に楽しめるオトナのライブハウス」をコンセプトに2010年4月にオープンした「Music Club JANUS(ジャニス)」様。大人向けのコンテンツを中心に、様々なジャンルのアーティストたちのライブスケジュールが組まれている。また、週末はディスコとして深夜から早朝まで営業しており、ライブとディスコという二つの営業体系をとっている。「JANUS」という店名が、ローマ神話の2つの顔を持つJANUS(ジェイナス、ヤヌス)神に由来していることから、その二面性がうかがえる。



▲ PAブース内のDiGiCo“SD8-24”



▲ AMCRON“XTi Series”

■ 2つの営業体系に応える2つのミキシングコンソール

「ホール全体の響きを大切に、生音重視の自然な音を目指している」と、サウンドコンセプトを語ってくれたのは、音響を担当するナックルポート株式会社の福井正浩さん。メインコンソールに選ばれたのは、DiGiCoの“SD8-24”。「Zepp Osakaなどでも使用した事はあるが、多チャンネルのミキシングの際にもそれぞれの音の輪郭がしっかり再現されている。加えて、内蔵エフェクターのクオリティが予想以上に良い。」また、限られたスペースを考慮して、小型で高機能を備えているという点も選定の大きな理由になっている。サブコンソールには、Soundcraftの“FX16 II”が選ばれた。ディスコ営業の際に、乗り込みのエンジニアさんが扱いやすいように、アナログコンソールをあえて選択している。

メインスピーカー、ステージスピーカー用のパワーアンプには、AMCRONのXTiシリーズが13台使用されている。福井さんは「非常にナチュラルかつパワフルで、押し出し感がある。」とサウンドの印象のほかにも、「特にXTi 6000に関してはスイッチングアンプっぽくなく低域の再生能力は抜群。」と性能にも言及して評価していただいた。

●お問い合わせ先

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.
ヒビノインターサウンド株式会社

TEL : 03-5783-3110
TEL : 03-5783-3880

HIBINO

hibino Group

▼ Music Club JANUS

〒542-0083
大阪市中央区東心齋橋 2-4-30-5F
06-6214-7255
<http://musicclubjanus.com/>



【オープン時期】

2010年4月

【主要な納入機材】

機材	ミキシングコンソール
ブランド名	DiGiCo
製品名	SD8-24

機材	ミキシングコンソール
ブランド名	Soundcraft
製品名	FX16 II

機材	パワーアンプ
ブランド名	AMCRON
製品名	XTi 6000、XTi 4000、XTi 2000

機材	マイクロホン
ブランド名	Shure
製品名	SM58-LCE、SM58SE、SM57-LCE、BETA58A、BETA57A、BETA52A

機材	マイクロホン
ブランド名	AKG
製品名	C 451 B ほか多数

機材	ワイヤレスマイクロホンシステム
ブランド名	Shure
製品名	ULX Wireless